

ひのまちトーク 2022

～22世紀の地域づくり～

令和4年6月11日(土)
午後1時30分～3時30分
イオンモール多摩平の森
3階 イオンホール

プログラム

1. 開会宣言
2. 開会挨拶 日野市長 大坪 冬彦
3. 自治会交流会趣旨説明 滝合自治会 壺井 隆
4. 第1部 パネルディスカッション、事例紹介
～私が思う「地域のみらい」…だから私は自治会に入る！！～
パネリスト：下田自治会、豊田第四自治会
西宮下自治会、武蔵野台自治会（順不同）
5. 休憩
6. 第2部 交流会
～自治会・地域の情報交換、交流をしよう～
 - イベント、お祭りの開催方法
 - 退会者の少ない自治会・組織編成
 - 団地・マンション自治会の交流
 - 情報発信・SNS、ホームページ活用方法
 - 地域の横の繋がり
 - 地域防災
 - 自治会加入方法等
 - 市の情報コーナー

目次

- 目次、ひのまちトーク 2022（自治会交流会 2022）について・・・P2
- 第1部 パネリスト&自治会紹介・・・P3
 - 下田自治会／豊田第四自治会／西宮下自治会／武蔵野台自治会
- 運営委員紹介・・・P7
- 自治会お役立ち情報・・・P9
 - 自治会運営ハンドブック／日野市自治会補助金
 - 日野市自治会活動インセンティブ補助金／備品貸出について
 - 東京都の助成事業／自治会ホームページ&LINE 公式アカウント紹介
- 市からのお知らせ・・・P15
 - 空き家の学校（都市計画課）／防犯事業のご案内（防災安全課）

ひのまちトーク 2022(自治会交流会 2022)について

地域協働課では、地域で活動している様々な団体をお呼びして、地域懇談会を開催しています。地域懇談会の参加者アンケートにて、自治会同士の交流や他の自治会の活動状況を聞く場がほしいというご意見を多数いただきました。そこで、実際に自治会活動をされている方に運営委員として企画・運営を一緒に行っていただき、昨年度初めて自治会交流会を開催しました。参加された自治会の方より、「他の自治会の話を知ることができて、参考になった」「もっと交流したい」と大変ご好評をいただきました。

今年度も開催にあたり、企画・運営を一緒に行っていただける自治会員（運営委員）を募集したところ、10名の方に参加していただき、昨年より検討会を重ねてきました。地域の人と人とのつながりを築いている自治会。もしもの時は助け合い、お祭りごとではともに笑い、暮らしを豊かにしてくれます。仲間づくりであり、地域づくりでもある自治会活動。その活動が活発になることで、地域の未来へ繋げていきたいという想いを込めて、運営委員の皆様と“ひのまちトーク 2022～22世紀の地域づくり～”と、命名しました。今後も、自治会の更なる発展のため、自治会交流会を自治会員の皆様と作りあげていきます。

日野市企画部地域協働課一同

第1部 パネリスト&自治会紹介

下田自治会

前田 保宏

■設立

昭和 59 年 5 月

■加入世帯数

338 世帯／全 842 世帯
(令和 4 年度自治会登録書より)

■自治会エリア(右地図 54)

万願寺 1～4 丁目周辺

■特色

- ・モノレール万願寺駅周辺の地域
- ・万願寺中央公園や、下田地区センターが活動の拠点となっている
- ・多摩川と浅川に挟まれている
- ・若い世代の参画が進んでいる

■組織体制

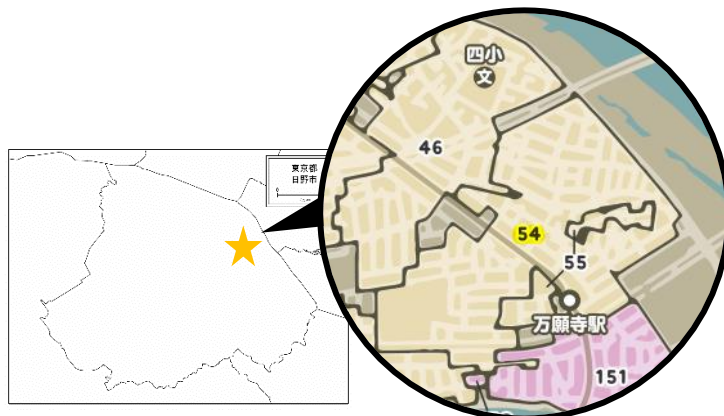
- ・会長、副会長、各部長(副部長)、会計、書記、監事、組長(全 25 組)
- ※部会 総務部、行事部、環境部、防災部
- ・自主防災組織／あり 子ども会／あり

■活動内容

夏まつり ふれあいフェスタ(8月)、キッチン下田(8月)、防災フェスタ(10月)
映画祭(11月)、餅つき(12月)、地域交流サロン(月2回)、広報誌配布(年3回)
市内一斉清掃(年2回)、スマホ教室(不定期)

■事例紹介

- ・サポーター制度、アドバイザー制度
- ・自治会 HP、LINE、ポータルサイトなどの SNS 活用



2021年度 ふれあいフェスタ(秋開催)の様子



映画祭の様子



■設立

昭和 40 年 4 月

■加入世帯数

414 世帯／全 1,024 世帯
(令和 4 年度自治会登録書より)

■自治会エリア(右地図 118)

豊田 2 丁目周辺

■特色

- ・ 豊田駅南側にある浅川沿いの地域
- ・ 自治会活動が活発
- ・ 地域資源（自然・人・場所）が豊か
- ・ 区画整理中
- ・ 自治会としてサークル活動やスポーツ団体を奨励、支援している

■組織体制

- ・ 会長、副会長、会計、会計監査、広報写真、班長・副班長（全 10 班）実行委員長、実行委員
- ・ 自治会内サークル／囲碁・健幸体操クラブ、緑化サークル、ゴルフサークル、キノコ部、文化音楽部
- ・ 自主防災組織／あり

■活動内容

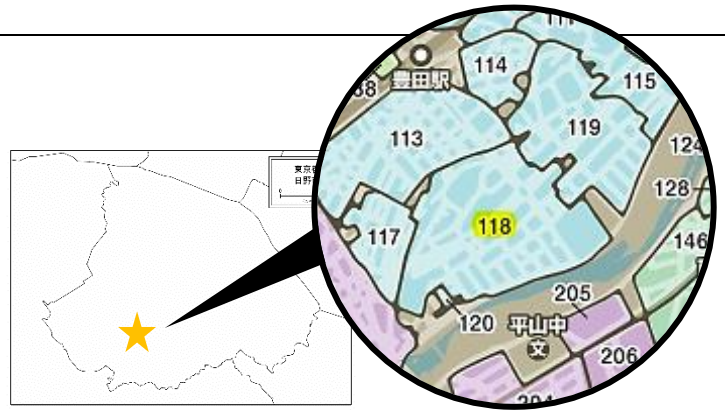
ニジマス釣り（5 月）、ジャガイモ堀（6 月）、プルーン狩り（6 月）
矢崎橋田植え、稲刈り（6 月・10 月）、流しそうめん（8 月）、防災研修会（10 月）
収穫祭ピザ祭り（5 月・11 月）、餅つき大会（12 月）
市内一斉清掃、用水路清掃（年 2 回）

【協力事業】

花火大会（8 月）、大堀さらい(5 月・8 月)、若宮神社祭礼(9 月)、どんど焼き大会（1 月）

■事例紹介

- ・ 防災と絡めたイベント（ニジマス釣りや流しそうめん）等の実施
- ・ 周辺自治会と連携した、合同でのイベント開催



【つり大会 生簀で虹鱒釣り】



【餅つき大会 お楽しみ抽選会】

■設立

昭和 40 年代設立、川北連合体として活動
平成 7 (1995) 年度より単独で活動開始

■加入世帯数

202 世帯 / 全 613 世帯
(令和 4 年度自治会登録書より)

■自治会エリア(右地図 190)

東平山 1 ~ 3 丁目、西平山 1 丁目周辺

■特色

- ・ JR 東日本/豊田車両センターの南側にあり、自治会エリアが東西に広い
- ・ 現在区画整理の最中で、真ん中を日野バイパスの仮道が通り、新しい住宅が増加している
- ・ 自治会の情報発信を積極的に行っている (SNS や HP、回覧板活用)
- ・ デジタル化の推進 (LINE・HP 開設、会議招集等 LINE 活用、Web 会議実施、会議時テレビ活用、共通ファイル化等)
- ・ 行事の立案実行を各部門に委ねているが、小さな行事は会員が立案実行できる (助成金有)

■組織体制

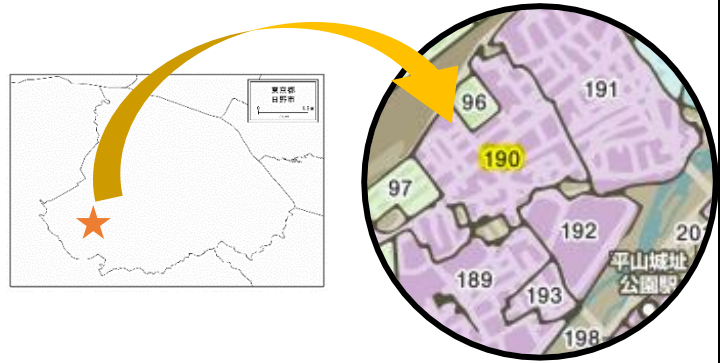
- ・ 会長、副会長、各部門の部長 (副部長)、会計、参与 (相談役)、監事、班長 (全 13 班)
【部門】親睦部、地域安全部、福祉部、環境部、サポート部 (Web ページ運営委員会)
- ・ 自主防災・防犯組織 / あり 子ども会 / あり

■活動内容(令和3年度)

- ・ 親睦活動: じゃがいも掘り (6 月)、秋祭り (11 月)、マルシェ (3 月)、ブルーベリー摘み (中止)
- ・ 地域安全活動: 児童見守り・防犯パトロール (年間)、年末火の用心 (12 月)、防災訓練 (中止)
- ・ 福祉活動: 高齢者見守り (年間)、敬老記念品配布 (9 月)、高齢者等健康体操 (9~1 月)、高齢者等生活支援サービス (11~3 月)
- ・ 環境活動: 秋の一斉清掃 (11 月)、春の一斉清掃 (中止)
- ・ 会員主催行事: 餅つき (12 月)、親子 DIY (2 月)
- ・ その他活動: Zoom 講習会 (7 月)、スマホ教室 (中止)

■事例紹介

- ・ 加入促進の取組: 秋祭り等の行事により自治会の魅力を発信しつつ、役員全員で勧誘活動実施
- ・ 自治会情報発信の取組: 回覧板、LINE、HP、イベントチラシ、自治会パンフレット等活用



【秋祭りの様子】

【行事動画】	<<じゃがいも掘り>> https://youtu.be/Lg-OLCsQHpc
	<<秋祭り>> https://youtu.be/yJF0rDeV6nY
【当自治会公式 LINE アカウント】	【当自治会 HP】 http://nishimiya.tokyo/
	

■設立

不明

■加入世帯数

193 世帯 / 全 217 世帯
(令和 4 年度自治会登録書より)

■自治会エリア(右地図 217)

程久保 8 丁目周辺

■特色

- ・多摩動物公園裏手の丘陵地にある
- ・大学と連携した居場所づくりを行っている
- ・自治会内の集会所として空き家を活用

■組織体制

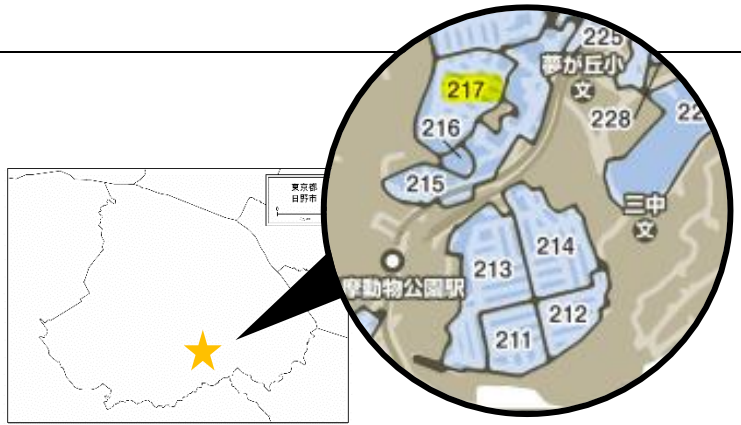
- ・会長、副会長、班長 (全 10 班)、監事
- ・自主防災組織 / あり

■活動内容

安全シグナル訓練 (5 月・11 月)、炊き出し訓練 (11 月)、防犯パトロール (月 2 回)、市内一斉清掃 (年 2 回)、自治会だよりの発行 (毎月)

■事例紹介

- ・会員を維持する秘訣
- ・空き地を活用した居場所づくり (杉の子広場)



【Before】



【After】



【遊ぼう会 2019.2020】



【杉の子横丁 2020】

ひのまちトーク 2022(自治会交流会 2022)運営委員紹介

名前	大庭 将広	自治会名	下程久保自治会	
<u>運営委員からひとこと</u>				
<p>自治会長を3年、役員を1年やっていました。引継ぎが面倒くさかったから継続しただけです。今回は「地域の横のつながり」ブースにいます。程久保はもともと繋がりが強くイベントも多い地域。自分ではすごいことはしてないと思っておりますが、気楽にゆるりとお付き合いください。自治会長って責任とか大変かもしれませんがメリットも大きいですよ。</p>				
名前	熊本 浩	自治会名	京王平山住宅地平山二丁目自治会	令和3年度会長
<u>自治会交流会に参加してみた</u>				
<p>昨年度の自治会交流会に参加したのは、自治会運営のヒントを見つけるためでした。そこには活発に活動されている自治会、同じ悩みを抱える自治会などの方が参加しており、活動を考えるきっかけを貰えたと思います。一回話を聞いただけで、画期的なことが起こるわけではありませんが、最初の一歩にはなると思います。来年は皆さんが同じ自治会の方を一人でも多く連れて来れば、同じ思い、同じ考えを共有できる人が増えていくと思います。</p>				
名前	近藤 規一郎	自治会名	下田自治会	
<u>あなたにとって自治会とは？…だから私は自治会に入る!!</u>				
<p>住んでいる場所での自分の生きていく場所を見つける。家族、同級生、会社の仲間に加え、どう人と関わり、これからの自分の人生をどう進んでいくか、作っていくか、それをこれからも暮らしていくこの場所につくる為に私は自治会に入りました。人生100年と言われるこの時代だからこそ、いつまでも楽しむ時間を身近な仲間と楽しんでいこうと思います。</p>				
名前	佐藤 琢磨	自治会名	南平台自治会	
<u>あなたにとって自治会とは？…だから私は自治会に入る!!</u>				
<p>自治会は普段は近所の仲間たちとイベントなどを開催して暖かい風を吹き、災害発生時の一番のよりどころなので入会しています。</p>				
<u>私が思う「自治会の未来像」</u>				
<p>一番身近なSDGsを実感できる場所</p>				
<u>うちの自治会の推し！（活動事例紹介）</u>				
<ul style="list-style-type: none"> ・LINE公式アカウントを活用して回覧板をデジタル化 ・家々を練り歩くハロウィン ・火の用心 				
<u>自治会交流会に参加してみた</u>				
<p>他の自治会に気の合う大切な仲間が出来て、一緒に街づくりを実感できた。日野市の自治会全体のデジタル化に貢献させて頂きたいです。</p>				
名前	Taka	自治会名	滝合自治会	
<u>運営委員からひとこと</u>				
<p>動こう!!婿として日野で過ごして5年ほど、出身地の関西にいる時より圧倒的に楽しく、災害が心配な時も安心して過ごさせています。始まりはご近所さんとの町内イベントのテント立てのお手伝いでした。少しずつ、気の合うご近所と顔合わせしていたら、いつのまにか楽しく、安心に過ごせるようになっていました。</p>				

名前	中村 輝子	自治会名	第二豊田荘自治会	
<u>運営委員からひとこと</u>				
<p>私は、昨年度自治会役員を経験し、高齢化に伴い仕事負担を理由に退会傾向にある自治会を実感し、今後も楽しくイキイキ主体的に活動できる自治会が存続していればいいなと思いました。また、一年輪番制の自治会活動では、継続的に組織（システム）改革などを検討することには、限界があることも感じました。個人個人の思いだけでは何も変えられないこともです。今年度も交流会検討委員会から参加させていただくことにより、自治会活動経験豊富なメンバーとの話し合いで、自治会の今後の可能性を実感するとともに刺激も受けています。これからも、素敵な地域コミュニティの未来図をイメージしながら関わらせていただけたらと思っています。『ひのまちトーク』が、日野市民全体で、考え合えるそんな場になることも夢見て。</p>				
名前	中村 康子	自治会名	黒川自治会	広報
<u>運営委員からひとこと</u>				
<p>昨年に続き、交流会の運営委員として参加しています。自治会の役員をしていると、「〇組の〇さんが退会した！」「引越してきたけど自治会に入会してくれない」等々、役員会の中で話される課題です。役員になったころはマンネリ化なんじゃない？等と思っていましたが、いつの間にか自分もマンネリ化していたことに気づかせてくれたのが「自治会交流会」の運営委員でした。昨年はSNSを担当したお陰で、自治会役員向けにスマホ講座も開催できました。一歩ずつでもマンネリ打破を目標に活動して行けたらと思わせてくれるのが他自治会さんとの刺激有る交流です。是非皆さんも一つでも何かを掴みとって自治会活動につなげて頂ければと思います。</p>				
名前	野澤 一弘	自治会名	松ヶ丘自治会	
<u>運営委員からひとこと</u>				
<p>交流会に関わりを持つことで、コロナ禍により暗闇のまちに明かりをともしましょう。キャンプファイヤーで盛り上がりたく、楽しい風景を描いていきましょう。</p>				
名前	前田 保宏	自治会名	下田自治会	副会長
<u>私が思う「自治会の未来像」</u>				
<p>コミュニケーションが希薄になってきた現代だからこそ相互助け合いが大切であり、その1つの形が自治会だと思います。もっと自治会活動を広く展開するために、連合自治会による規模の拡大、自治会のNPO化による活動資金の調達、市の境界を越えた自治会連携による避難場所確保など、自治会の維持、拡大には新たな形も必要ではないかと考えています。各自治会の役員の方、会員の方、いろいろな課題を自治会内だけで考えずに、そして固定概念にとらわれずに、このような交流会の出会いを通じてみんなで考えていきませんか。</p>				
名前	山口 慶隆	自治会名	北原自治会	
<u>運営委員からひとこと</u>				
<p>生まれ育った故郷から離れ新天地で生活を送るにあたり、地域とのつながりが家族のためにもなるの思いで自治会ははじめ地域活動に参加した。北原自治会の特徴は子ども会、老人会などライフスタイルに応じた年齢層で活動しており、地域づくりにとって大事なことと考えている。今後は多様性に向けた組織構造を構築して行きたい。</p>				

ひのまちトーク 2022(自治会交流会 2022)運営委員会 活動記録

- ・ 検討会 全7回 令和4年1月26日キックオフ
- ・ 運営委員 10名
- ・ 活動場所 地域協働課内打ち合わせスペース、Zoom（オンライン）

自治会お役立ち情報

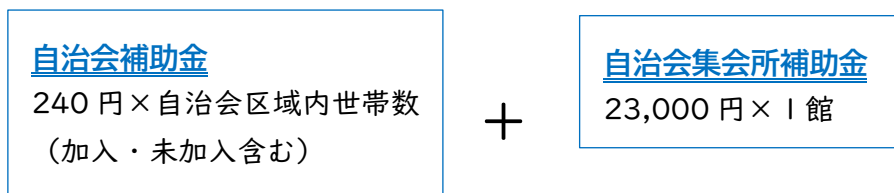


●自治会運営ハンドブック 市 HP ID : 1011484

日野市で行っている自治会活動の支援や自治会活動に関するお役立ち情報をご紹介します。

●日野市自治会補助金

日野市自治会補助金には、2項目の補助金が含まれます。



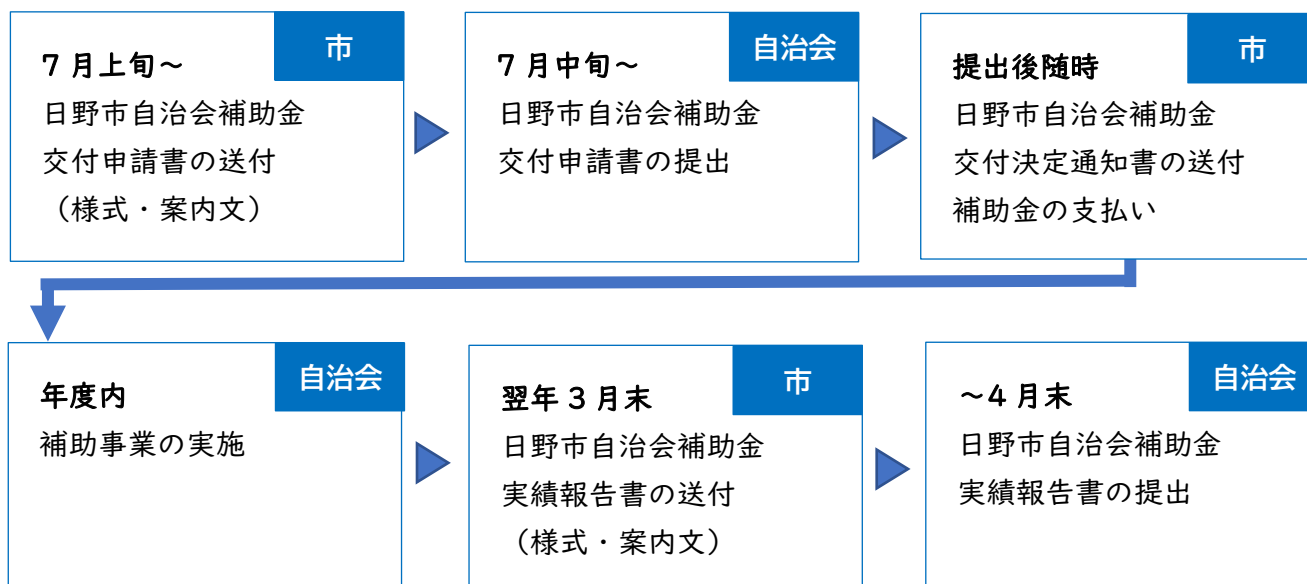
○ 補助対象事業 自治会活動に関する事業全般

- 1) 地域コミュニティの活性化・発展に資する事業
例：盆踊り、花火大会、お祭りなど、会員相互の親睦に関する活動
- 2) 自主防災・自主防犯に関する事業
例：市の総合防災訓練への参加、防災用品・防災グッズの購入、地域防災訓練の実施など
- 3) ごみ減量、資源リサイクルに関する事業
例：一斉清掃や浅川クリーン作戦で使用する物品の購入や飲み物購入費
- 4) 文化、スポーツ、レクリエーションに関する事業
例：スポーツ大会、地区育成会への参加など
- 5) 自治会の運営に関する業務及び各種会議に関する事業
例：会議費、事務用品の購入費、名簿・会報の発行、住宅表示板の修理など

× 補助対象外事業

- 1) 子ども会や老人会等への補助金・助成金
- 2) 消防団への協力金や、赤い羽根等の募金
- 3) 慶弔金・祭礼費
- 4) 役員手当（役員報酬）

今後のスケジュール



●日野市自治会活動インセンティブ補助金 市 HP ID : 1019408



地域課題解決のために、チャレンジする自治会の初動を支援します。
自治会で新たな活動を始めてみませんか？

概要

■補助金額 最大10万円 ※補助金の上限額は、申請の申込状況で変わります。

■対象事業 自治会が行う次のいずれかの事業

- ①自治会加入促進に関する事業
- ②自治会運営の円滑化に関する事業
- ③地域内住民または団体の連携促進に関する事業
- ④その他地域の課題の解決に関する事業

■応募期間 令和4年5月2日(月)～6月30日(木)

★応募の手引き・応募書類は、生活・保健センター内地域協働課にてお配りしています。
日野市のホームページからもダウンロード可能です。

★お申込みには事前協議が必要です。まずは、地域協働課までご相談ください。

令和3年度 日野市自治会活動インセンティブ補助金事例紹介

①自治会加入促進に関する事業

- ◆ 夏祭り
- ◆ 自治会のしおり、自治会紹介リーフレットの作成

②自治会運営の円滑化に関する事業

- ◆ 自治会活動のオンライン化
オンライン環境を整備(モニター、WEBカメラ等の購入)し、
オンラインで会議や自治会事業を行う。



③地域内住民又は団体の連携の促進に関する事業

- ◆ みんなのひろば
地区センターにて、毎月2回、一緒にモノづくりをしながらお話や
子育て相談ができる場(みんなのひろば)を開催し、多世代交流・地域活性化を図る。
- ◆ 農を通じた交流事業
地域の耕作放棄地を活用して、地元農家の方の協力の元、周辺施設と一緒に
サツマイモの栽培・収穫作業を通して、地域の交流を図る。



④その他地域の課題の解決に関する事業

- ◆ 防災訓練
防災訓練を通して、防災意識の向上と会員相互の交流を図る。

【問い合わせ先】

日野市企画部地域協働課 ☎042-581-4112 / ✉ckkyodo@city.hino.lg.jp

●備品貸出について

市 HP ID : 1018468



自治会活動や地域活動を支援するため、各種備品の貸出を無料で行っています。
オンライン会議セットやスマートフォンもご用意しております。
自治会でのイベントや、会議等にぜひご活用ください。

備品名	数量	備考
テント (2.7m×3.6m)	3	
長机	40	
折りたたみ椅子	80	
座卓 (H330mm)	28	
パネルボード	14	
パネル立て	18	
はっぴ (大人用)	91	平日のみ貸出可
はっぴ (子供用)	50	平日のみ貸出可
ワイヤレスアンプ (マイク付属)	2	平日のみ貸出可
有線マイク	1	平日のみ貸出可
コードリール	3	平日のみ貸出可
スクリーン (80 インチ)	2	平日のみ貸出可
プロジェクター	1	平日のみ貸出可
おもり (大)	28	平日のみ貸出可
おもり (小)	6	平日のみ貸出可
オンライン会議セット ・ Wi-Fi ルーター ・ マイクスピーカー ・ Web カメラ	2	平日のみ貸出可 【利用可能場所】 自治会所有の自治会集会所 地区センターや交流センターなどの市保有施設
スマートフォン (iPhone)	10	平日のみ貸出可
スマートフォン (Android)	10	平日のみ貸出可

利用方法

①空き状況の確認(予約)

ご希望の日時の空き状況を、地域協働課までお問い合わせください。(電話、メール、FAX)

【予約受付開始日】

オンライン会議セット、スマートフォン：利用日の2ヵ月前の1日から

その他の備品：利用日の6ヵ月前の1日から

②申請書の提出

貸出当日までに、申請書のご提出をお願いします。

③貸出、④返却

生活・保健センターまでお越しください。

【平日】4階 地域協働課窓口 (午前8時30分～午後5時15分)

【土曜日・日曜日・祝日】1階 生活・保健センター受付 (午前8時30分～午後8時45分)

●東京都の助成事業

1. 地域の底力発展事業助成



地域活動の担い手である自治会が行う地域の課題を解決するための取組を推進し、「地域力」の向上を図る事業に対して、助成を行うものです。

事業区分	事業例
A 地域の課題解決のための取組	世代間交流イベント 地域紹介ガイドブックの作成と、その活用による加入促進事業
B 東京都が取り組む特定施策の推進につながる取組	
B-1 防災・節電活動	防災訓練、防災マニュアルを活用した訓練、節電講習会
B-2 青少年健全育成活動	仕事体験事業、自然体験教室、子供交通安全教室
B-3 高齢者等の見守り活動	高齢者の見回り訪問、多世代交流サロン、子ども食堂
B-4 防犯活動	防犯パトロール、防犯講習会
B-S 東京都が緊急に取り組むべき特定施策の推進につながる取組	
① 多文化共生社会づくり	異文化体験・国際交流イベント 外国人向け防災マニュアルの作成と、その活用による訓練
② デジタル活用支援	オンラインツールを活用した町会イベントの配信 スマホ・タブレット等のデジタル機器の使い方講習会
C 複数の単一町会・自治会が共同して実施する地域の課題解決のための取組	2町会合同で実施する避難所運営訓練 5町会対抗運動会
D 単一町会・自治会が他の地域団体（町会・自治会及び自治体を除く。）と連携して実施する地域の課題解決のための取組	商店街と連携した地域交流イベント 高齢者福祉施設との連携による避難訓練 地元 NPO との連携による青少年育成事業

助成率

- A 今までに本助成金を受けたことがない場合：助成対象経費の 10/10
ある場合：助成対象経費の 1/2
- B-1,2 今まで助成金を受けたことがない区分で申請する場合：助成対象経費の 10/10
受けたことがある区分と同じ区分で申請する場合：助成対象経費の 1/2
- B-3,S 助成対象経費の 10/10
- B-4 今までに B-4 区分で助成金を受けたことがない場合：助成対象経費の 10/10
ある場合：助成対象経費の 1/2
- C 共同する団体の中に、今まで C 区分で助成金を受けた団体がいない場合：助成対象経費の 10/10
いる場合：助成対象経費の 1/2
- D 今までに本助成金を D 区分で受けたことがない団体：助成対象経費の 10/10
ある団体：助成対象経費の 1/2

助成限度額

A,B 都町連・町自連：200万円 地区連：100万円 単一：20万円 C 50万円 D 30万円

★詳しくは、東京都ホームページまたは地域の底力発展事業助成ガイドラインをご覧ください。

2. 高齢者向けスマートフォン教室(講師おまかせスマホ教室)



自治会が行う「スマホ教室」に、講師派遣を行います。
教室開催に際し、必要物品の購入等に地域の底力発展事業助成を活用できます。

概要

- 希望日時・場所に講師を派遣（派遣費用は無料、要会場の手配）
- 操作体験（2時間）＋質疑応答（1時間）の合計3時間
- スマホをお持ちでない方には、当日、体験機の貸出あり

開催可能日時

令和4年6月1日（水）～令和5年2月28日（火）午前9時から午後6時まで
※土日祝日開催可。ただし、年末年始は除く。最終開始時刻：午後3時

募集スケジュール

- 第1回 受付終了
- 第2回 令和4年4月28日（木）～6月20日（月） 8月1日以降の開催
- 第3回 令和4年6月28日（火）～8月12日（金） 9月23日以降の開催
- 第4回 令和4年8月22日（月）～10月20日（木） 12月1日以降の開催

3. 町会・自治会による防災対策普及啓発事業助成



町会・自治会が主催して行う防災対策普及啓発事業を支援しています。

対象事業

①防災対策に係る啓発チラシの配布【必須】

都のチラシ雛形に、町会・自治会からのメッセージを記載して、各戸配布

②町会・自治会独自の防災に役立つ情報の配布【任意】

①の啓発チラシと合わせて、独自の情報を作成、配布

例：町会・自治会内の避難場所・避難所、給水施設等の地図、防災訓練開催のお知らせなど

③防災グッズの配布【任意】

①の啓発チラシと合わせて、個人備蓄用の防災グッズ等を配布

助成限度額

20万円（助成率10/10）

募集スケジュール

- 第1回 令和4年6月30日（木）～7月13日（水）
- 第2回 令和4年7月21日（木）～9月13日（火）
- 第3回 令和4年9月21日（水）～11月14日（月）

【問い合わせ先】

東京都生活文化スポーツ局 都民生活部 地域活動推進課 地域活動支援担当

☎03-5388-3166 / ✉S1121202@section.metro.tokyo.jp

●自治会ホームページ&LINE 公式アカウント紹介

日野市自治会のホームページ、
LINE 公式アカウントを紹介します！
スマートフォンで QR コードを読み取ってみましょう！

ホームページ



万願寺自治会



下田自治会



南新井自治会



西宮下自治会



大和田自治会



豊田北組中央自治会

LINE 公式アカウント



南新井自治会



下田自治会



南平台自治会

2022

まちと空き家の学校

第2期受講生募集

地域の居場所や交流の場づくりをしている方、これから始めたい方

空き家の所有者、ご自宅の維持・活用を検討したい所有者



▲つながりの家アムール（程久保）
市内にある空き家を活用したサロン。地域の方々が集う場となっています。

ぜひご参加ください。

場づくりに関心がある方、

空き家の活用や地域の

昨年度のダイジェスト動画をこちらからご覧いただけます



空き家などを活用して、サロン、子ども食堂や絵画教室などの活動をしている方、これから始めたい方

対象者（下記に一つ以上該当する方）

- ① 市内に在住・在勤・在学中で、引き続き1年以上継続する予定
- ② 市内で活動するNPO法人、社会福祉法人などに属する
- ③ 市内に空き家など（※）を所有し、その活用に関心がある
- ④ この受講を通じて市内で地域活動や空き家などの活用をする
- ⑤ 日野市近辺にある高等学校、大学に通っている学生、先生など

※空き家などとは、空き家、空き地、その他の空きスペースを指します。
受講に当たっては全6回（講義3回・実習3回）のすべてにご参加ください（1回だけの参加はできません）



▲詳細はこちらから
※申し込みには受講申込書が必要です

参加申込期間

6月1日(水)～
7月27日(水)

定員15人

申込多数の場合、申込情報に基づく選考があります

全6回
(4日間)

参加費
無料

日野市の取り組みや学校に関する説明動画を6月下旬に公開します。関心がある方は都市計画課までご連絡ください

スケジュール&プログラム ※状況に応じて変更になることがあります

9月10日(土)	10:00～12:00	講義1	活動拠点の作り方を学ぼう
	13:00～15:30	実習1	市内の空き家の現場をみてみよう
10月8日(土)	13:00～15:30	講義2	場作りの提案を作ってみよう
11月26日(土)	13:00～15:30	実習2	小さな場作りに実際にトライ！
12月17日(土)	10:00～12:00	講義3	活用企画を考えよう
	13:00～15:30	実習3	総まとめ、発表

会場 市役所5階505会議室（予定）

実習1および実習2は空き家の現場で行う予定です

みんなの力でまちを守ろう

★自主防犯組織募集中！！

日野市内では、自主防犯組織が現在191団体あり、防犯パトロールや通学路の見守り等の活動により、不審者や犯罪者を寄せ付けない“人の目”が確保され『安全で安心なまちづくり』に貢献していただいております。

日野市では、ボランティアに登録いただいた皆様に積極的に支援しておりますので、ぜひ自主防犯組織にご参加ください。

○ 防犯パトロールグッズの貸与

防犯パトロール活動用のベストや帽子、腕章等を貸し出しています。

○ 防犯パトロール・ボランティア保険

活動中の“もしも”に備える保険になります。(※費用は市が負担します)

○ 自主防犯組織育成事業交付金

防犯ジャンパーや看板、腕章、パトロール用ライトなど防犯用品購入のため**最大10万円分**の助成金を市から受けることができます。ぜひ組織活性化のためにご活用ください。

※交付金対象事業、申請手続き等については、担当までご連絡ください。



★令和5年度街頭防犯カメラ設置補助事業実施中！！

日野市では、令和5年度に自治会が設置する街頭防犯カメラに対し設置費用等の補助事業を実施しております。

防犯カメラは、撮影するだけのものではなく、設置することで、自治会内での**トラブルや犯罪を未然に防ぐ抑止力**があります。

現在、自治会内で設置を検討されている方がいらしたら、一度ご相談ください。(受付締切りは、令和4年8月31日ころまで)



★自動通話録音機の無料貸出実施中！！

連日のように日野市内には、警察官や市役所職員を名乗り『犯人を捕まえた…』『医療費が戻ってくる』などと詐欺犯人から、詐欺の予兆電話がかかってきております。

そこで、日野市では市民の方が安全に安心して生活していただけるよう詐欺電話を撃退するため**自動通話録音機を65歳以上の市民の方を対象に無料で貸出し**をしております。

また、自動通話録音機には、詐欺電話を撃退するだけでなく、悪質商法勧誘の電話にも効果がありますので、ぜひご利用ください。



電話でのご質問もお受けしています。ぜひご連絡ください。

日野市役所総務部/防災安全課 電話:042-585-1100

電子メール: bousaianzen@city.hino.lg.jp